

暮らしを彩る 魅力ある住空間

建築例／
静岡市『上弦の家』

文・写真／ココラボ 山崎健治



1

『上弦の家』と名づけたこのお宅は、20坪弱のコンパクトなスペースの中に、ご夫婦2人の生活スペースと、ご主人の職場であるスタジオを併せ持つ住宅として建築されました。「限られたスペースの中でも、魅力ある住空間をつくりたい」を合言葉にAさん夫妻の思いをカタチにしていきました。

市街地での住宅計画

今回の建築地となったのは静岡市の中心部。奥様の育ったご実家の隣地を譲っていただけるという話をきっかけに、住宅の計画が具体的になっていったと伺いました。ご実家とつながった敷地という事や、奥様がご実家の一部で鍼灸院を営んでいるという事もあり、今回の話はごく自然な流れの中でまとまり、住宅の計画へと進んでいきました。

ただ、トントン拍子で進んだ土地購入の話とは裏腹に、今回の建築地での住宅計画には、解決していかなくてはいけない問題も多く含んでいました。

私が初めて建築地を訪ねたのは昨年の

秋。施主のAさんからの建築相談を受け、まずは敷地を拝見させていただきました。

私が伺った時はまだ敷地いっぱいには鉄骨の倉庫が建っており、隣地建物をはじめ、周囲の様子把握が難しかった事を覚えていいます。敷地の周囲は建物に囲まれ、進入路は車一台ギリギリのスペース。部屋の配置や採光、通風といった計画に合わせて、実際の建築工事の手順についても同時に検討していかなくてはいけないと強く感じました。

敷地の諸条件を明確にする目的もあり、まずは敷地内の倉庫の解体工事を行いました。倉庫とはいえども、限られたスペースの中での鉄骨造の解体工事という事で、

解体屋さんも苦労していましたが、今年の

1月に大きな問題も無く解体工事を終え、敷地全貌を目にすることが出来ました。

当初の予想通り、敷地の周囲は隣地建物に囲まれていましたが、北東の方角からの採光・通風が期待出来そうだと判断し、家のメインをこの方角に合わせて計画していく事になりました。

解体工事の終了後、本格的に設計の打ち合わせが始まり、Aさんと何度となく話し合いを重ねていきました。打ち合わせ当初からAさんには明確な希望がありました。ご主人の職場であるスタジオと日々の暮らしとの共存。そして、コンパクトなスペースの中でも、暮らしを彩る魅力ある住空間を作る事でした。

1／家の核となる2階の畳スペース。厳しい敷地条件の中、開口部の位置や天井高さなどを工夫して、コンパクトで有りながら開放的で機能的な空間が出来上がった。

2／進入路から建物外観を望む。進入路は車一台ギリギリのスペースだが、ご両親の家の敷地と接しているため狭さは感じない。ベランダへの目隠しのために設けた木製縦格子が、この家の印象を決めている。

3／玄関ポーチ。ポーチにはロートアイアンの手摺を取り付けた。機能とデザインが相まって、雰囲気のある玄関に仕上がった。製作は「アトリアプラトール」の川合氏。家のポイントとして空間を引き締めてくれる。



2



3

スタジオと住空間の共存

何より音楽が大好きなご夫婦で、Aさん所有のギターやキーボードをはじめ、見た事も無いような弦楽器、かわいらしいオルガン、そして、大量のCDを所有されていました。お仕事の関係で多くはスタジオの中にに入れる事にはしましたが、日常生活の中でも音楽を楽しみたいお二人なので、特にCDをどこに収納しようかと皆で頭を悩ませました。スペースや建築コストの事もあり、大掛かりな収納場所を設ける事はできず、最終的には小上りの畳下スペースを利用して収納することとなり一件落着となりました。また、打ち合わせでお伺いしたマンションの玄関ホールに鎮座していたクラシックオルガン。さて、これをどこに置くか？これは奥様所有の品で、インテリアとしての見方が高いという事で、新居でも同じく玄関に置くことになりました。同じ

やかな階段との相性もバッチリ！再び玄関の顔として鎮座することとなりました。

そして、今回の大きな目的の一つとして

あげた、ご主人の仕事場であるスタジオと住空間との共存。スタジオではギター教室を行うため、生徒さんとの関係も考えておく必要があります。毎日の事ではないけれど、レッスンにいられた生徒さんがトイレや洗面を使う事もあります。とは言っても限られたスペースの中でトイレを2つ設けるのは難しい。あれこれと打ち合わせを重ねる中でスタジオスペースが1、2階を駆け巡り、それに合せて寝室や水廻りもあっちへこっちへと。いろんなパターンを考える中で段々とプランも絞られ、1階にスタジオ＋洗面・浴室、2階にキッチン・広間・寝室の案に決まりました。1階に設けたスタジオと、2階に設けた生活空間が程よい関係となるよう、玄関と階段の位置や形状を決め、全体の計画案がまとまっていきました。



1 / スタジオ入口ドアに取付けられたギターネックのレバーハンドル。建具屋さんを困らせた一品。握った時、フレットに触れてもらえるようにと取り付けの向きにこだわった。これで、スタジオの入口を間違える人はいないでしょう！

2／クラシックオルガンを設置した玄関土間。豆砂利の洗い出し仕上げと、軽やかな階段が交じり合い、独特の雰囲気
の玄関に仕上がった。

3／玄関建具は、やわらかな光を入れるために、少し細めの格子戸に。準防火地域なので、格子戸の手前にガルバリウム鋼板を貼った防火戸も入れている。



4 / 1 階スタジオの置かれた楽器。中央の楽器は、『ハンマーダルシマー』と呼ばれる弦楽器。ラテン語で、「綺麗な音色」と言う意味だとか。この音色はなんともいえない清らかな音です。Aさんは日本で数少ない名手。

5／小上りの高さを利用して、ダイニングテーブルのベンチとしている。コンパクトな空間だが、それぞれの場所で、メリハリのある時間が楽しめる。

6 / 小上りの畳スペースの下には引出収納を設けた。使い方は様々だが、AさんはCD収納として利用している。

ワクワクする。プラン計画

水廻りや玄関などはコンパクトなスペースにまとめ、また生活空間である2階スペースは片流れの屋根形状を利用し、変化と開放感のある空間になりました。中でも、キッチンと畳スペースを組み合せた空間は、コンパクトでありながら開放的、そして機能的な場所になったと思います。

計画当初は畳スペースを設けるのではなく、ダイニングと居間を兼ねた板の間の案で進んでいましたが、「今の生活を考える」とテーブルと椅子の生活というよりは、床座の生活の方が自分達に合っているね!」と話が進み、それならば少し小上りの畳ス

ペースを設けてみては？と提案しました。定番ではあるけれど畳スペースの下に引出式の収納スペースも確保出来るし、何より畳の素材感が気持ちいい。

4 帖半の畳スペースを配置しながら間取りを考えて行くうちに、キッチンと畳スペースとの間にTVボード兼冷蔵庫置き場ができました。そして、TVボードの横に1200×900ほどの造り付けのテーブルを配置し、畳の小上りをそのままベンチ代わりとして利用できるダイニングコーナーを造りました。プランが出来上がって見ると、何だか楽しそうな空間になりそうだと皆一様に納得！ワクワク感も高まりこのプランが採用となりました。



- 伝統的な素材を、現代のカタチに -

今回ご紹介した『上弦の家』でも使われた『葛布』。『葛』と聞けば、葛湯や葛餅などとしてご存知の方も多いと思いますが、葛布はどうやって出来ているのかご存知ですか？今回は、葛布の生産元である大井川葛布さんにご協力いただきながら、葛布についてご紹介したいと思います。



葛布をガラスに挟んだ「葛布ガラス」。透けた感じがちょうどよい目隠しに。



葛布を貼った玄関収納。独特の織目が美しい。

葛布は、身体を包むだけでなく、染料の染料には、単に色彩を染めるだけでなく染料の成分に抗菌、脱臭、防虫効果などがあります。このような天然の素材で作られた葛布は、身体を包むだけでなく、染料の

の染料には、単に色彩を染めるだけでなく染料の成分に抗菌、脱臭、防虫効果などがあります。このような天然の素材で作られた葛布は、身体を包むだけでなく、染料の

の染料には、単に色彩を染めるだけでなく染料の成分に抗菌、脱臭、防虫効果などがあります。このような天然の素材で作られた葛布は、身体を包むだけでなく、染料の

葛布とは…？

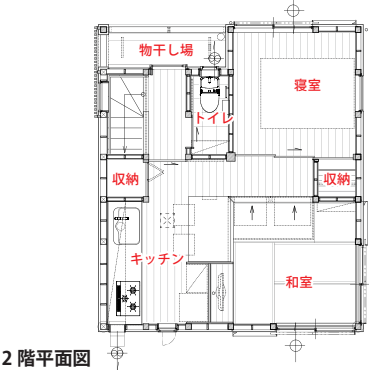
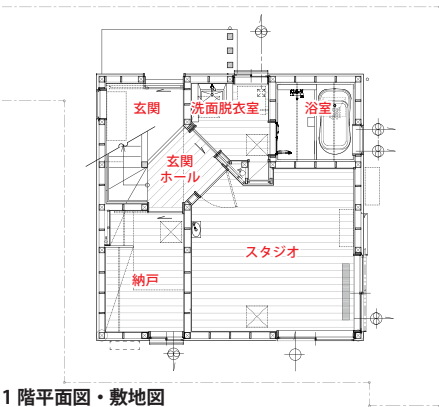
効果によっても身体を守っています。

葛布の活用

葛布の生産元である大井川葛布さんでは、葛布を現代のファッションとして蘇らせたとい考え、様々なオリジナル商品を作り出しています。人気のウォッシュタオルをはじめ、日傘やスカーフ、洋服など、新しい試みも行っています。葛布を知り尽くした生産元だから出来る、素材そのものの特徴を上手く生かした現代のカタチが出来上がっています。

コロボでは、この地元の特産である葛布をもっと気軽に建築の中で活かしたいと思い、主に葛布の素材感を生かした、通称『葛布ガラス』をはじめんだガラス扉を造っています。葛布は、色具合や織の密度などで等級が分かれています。葛布ガラスに使う葛布は、かえって織の粗いものの方が透け具合がよいため、安価なものでも十分に活かすことができます。葛布は、そのまの素地でも美しい光沢のある素材ですが、

仕様内容	
家族構成	家族2人
敷地面積	97.66㎡
建築面積	34.79㎡
延べ床面積	62.12㎡
構法	在来構法2階建て
外部仕上	屋根 ガルバリウム鋼板 縦ハゼ葺き 外壁 ガルバリウム鋼板 角波張り 一部漆喰コテ押さえ仕上げ
内部仕上	外部建具 アルミサッシ（ペアガラス） 天井 杉化粧野地板現しア 30mm 壁 漆喰コテ押さえ、タナクリーム塗り 床板 杉本実板ア 30mm、40mm 内部建具 オリジナル木製建具
設備	キッチン オリジナルキッチン 天板：ステンレスヘアライン 浴室 ハーフユニットバス：日比野化学工業 壁・天井：サワラ本実板ア 15mm 床：サーモタイル 300角
設計者	山崎健治
施工	こころ木造建築研究所
竣工	平成23年9月



家の中に『核』をつくる

1軒の家の中には様々な用途や雰囲気の違いがあった場所があり、その中でも『核』となる場所には、家族を惹きつける魅力ある空間が必要だと思っています。今回の計画でも、コンパクトなスペースの中に、高さの変化や素材の変化を織り交ぜ、一口には表せない楽しい場所が出来上がったと満足しています。

一 最初めにこの敷地に訪れてちょうど一年が経過しました。

計画から建築工事まで、決して楽な仕事ではなかったと思いますが、様々な問題や制約があったことが、かえって良い方向へ

と進みました。また、Aさんご夫婦の真剣な思いや、ご両親の協力などが重なり、とても有意義な仕事をさせていただけたと感謝しています。

この場所に新たな家生まれ、そして住まい手と共に徐々に育っていく。そして、当たり前場所、当たり前風景として暮らしに溶け込んでいく家になっていただきたいと思います。

- 1／キッチン横から見る。上部に設けた引き戸の吊戸棚は食器棚として利用し、キッチン下部は思い切ってオープンなスペースとして多目的に利用出来るようにした。
- 2／ハーフユニットバスにサワラ板を貼った浴室。シンプルな浴室だが、サワラの香りが漂い、リラックスできる浴室に仕上がった。
- 3／玄関ポーチ土間は、深草砂利を散りばめた三和土（タタキ）風の土間で仕上げた。飾らない雰囲気だけどちょっとオシャレな仕上がり。Aさんにピッタリな仕上げとなった。
- 4／2階キッチン入り口に、コロボ定番の『葛布入りガラス』を使った。Aさんの希望で、葛布を草木染めで仕上げ、2枚の透明ガラスで挟み込んでいる。



【洋服】涼しくきる事のできる葛布は、夏の衣類に最適です。



【日傘】葛布の織目がほどよく日差しをさえぎります。

<大井川葛布> 静岡県島田市金谷河原1747 TEL:0547-45-4151